

2023-2024 年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度 RI 会長
ゴードン R. マッキナリー

第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎(紋別港 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

2023 ~ 2024 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.3.5(火)
第 33 回例会
通算第 3,101 回

第 65 代会長：藤田 健 慈
副 会 長：有 田 昭 宗
幹 事：湯 川 孝 一
編集責任者：クラブ会報委員会
編 集 担 当：奥 田 一 巳

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ 水と衛生月間・世界ローターアクト週間

本日のプログラム 第 7 回クラブフォーラム(ローターアクト奨学担当)

次回の予告 3月12日(火) ゲスト卓話(名寄市スキーパトロール赤十字奉仕団 委員長 大山 忠嗣 様)

前回例会の記録 2024.2.27(火) 夜間例会

- 齊 唱 それでこそロータリー
- 司 会 水間 健詞 SAA
- ビジター なし
- ゲ ス ト なし
- メ ニ ュ 煮込みうどん
- 出 席
会員 55 名 出席 34 名 出席率 61.8%
- 出席率訂正
前週 65.5% 前々週 67.3%
- 欠 席 者 21 名
和泉、岡本、奥山、片平、上枝、木内、桑原、駒津、
三瓶、寺澤、中島、長久、野田、野村、東野、松前、
村上(勝)、吉田(次)、吉田(肇)、若沢、和田 各会員
- 出席規定免除 0 名 内出席者 0 名
- メークアップ報告
1 月 16 日、23 日 坂田会員(名寄 RAC)
1 月 30 日 坂田、三津橋 各会員(名寄 RAC)
2 月 6 日、13 日 坂田、三津橋
各会員(名寄 RAC)
2 月 20 日 有田、岡本、坂田、三津橋
各会員(名寄 RAC)
- ニコニコ BOX
◎お寒いなかご参加ありがとうございました
藤田会長
◎坂田会員、会員スピーチありがとうございました
喜多会員

■会長挨拶及び報告 藤田 健慈 会長

2 月も最終週になりました。今年はいよいよ、
29 日までであることが得したと考えるか、損を
したと考えるかは年齢によるそうです。

報告事項ですが、去る 24 日に名寄ピヤシリスキ
ー場で「北海道赤十字スキーパトロール競技大
会」が開催され、開会式と懇親会に参加してき
ました。51 回目の歴史ある大会です。

レスキューの技量を競うもので、名寄大会はコ
ロナで 2 回中止、ようやく念願の開催でしたが、
主催団体の大山代表がコロナで出席できずと、残
念な結果にはなったのですが、北海道各地からた
くさんのチームが参加していました。

本日は「赤十字奉仕団」についてお話しします。
ご存じの方も多いかと思いますが、地域赤十字奉
仕団は、市区町村を基盤にして、日常生活の中で
地域に根差した奉仕活動を展開しています。

道内では 180 を超える地域赤十字奉仕団が、
社資の募集活動や赤十字思想の普及推進活動に
取り組むほか、社会福祉施設の訪問などの福祉活
動を実施しています。

また、災害が発生したときには、被災者への炊
き出しや救援物資の配布、義援金の募集活動など
に積極的に取り組んでいます。

主に地域を拠点としたボランティアを行って
おり、地域奉赤十字仕団、青年赤十字奉仕団、そ
して特殊赤十字奉仕団というものがあり、スキ
ーパトロール奉仕団はここに属するそうです。特
殊奉仕団とは専門的な知識や資格を持つ人や、地
域を超えて特定のボランティア活動を行う人々
によって組織されています。

道内に 170 を超える特殊赤十字奉仕団があり、
健康と安全を守るための講習普及、水上パトロー
ル、アマチュア無線、飛行、点訳などの特性を活
かした活動や北海道ならではのスキーパトロー
ル、ノルディックウォーキングなどの技能を活か
し、道内各地で活躍しています。

名寄にもスキーパトロールの他、救急法、点訳奉仕、芸能奉仕、手話通訳、要約筆記通訳、水上安全などの特殊奉仕団があり、たくさんの人々が奉仕活動を行っています。

私たちロータリーの奉仕活動も、これらの皆さんと共にある社会貢献活動として、しっかり認知され続けるよう頑張っていきたいものです。

■幹事報告 湯川 孝一 幹事

本日開催の理事・役員会報告(2月27日(火)開催)

1. 2月25日(土)「第51回北海道赤十字スキーパトロール競技大会」開会式に藤田会長出席。
2. 3月・4月の例会予定が協議されましたので、事務局よりご案内させていただきます。

幹事報告

3. ガバナー事務局よりご案内があり、興部RCの会員で興部商工会会長だった長坂 廣行様が2月23日(金)にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。
4. ロータリー囲碁同好会から「第22回RI台湾囲碁大会」の案内が届きました。
5月18日(土)、19日(日)台湾の桃園(とうえん)市にて開催されます。ご興味のある方は湯川幹事までお申し出いただけましたら、大会の詳細をお知らせいたします。

■会員スピーチ

プログラム委員会 喜多 美仁 委員長

本日の会員スピーチは予定されていた方が欠席のため、そのまま懇親をお楽しみください。

坂田会員がピンチヒッターでお話しくれました。



■委員会・その他報告

国際奉仕委員会 長谷川 充保 委員長

「書き損じはがき」収集にご協力いただきありがとうございました。



夜間例会



2023-2024 年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度 RI 会長
ゴードン R. マッキナリー

第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎(紋別港 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

2023 ~ 2024 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.3.12(火)
第 34 回例会
通算第 3,102 回

第 65 代会長：藤田 健 慈
副 会 長：有 田 昭 宗
幹 事：湯 川 孝 一
編集責任者：クラブ会報委員会
編集担当：奥 田 一 巳

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

- 今月のテーマ 水と衛生月間・世界ローターアクト週間
- 本日のプログラム ゲスト卓話(名寄市スキーパトロール赤十字奉仕団 委員長 大山 忠嗣 様)
- 次回の予告 3月19日(火) ゲスト卓話(有北海屋 代表取締役 武田 直 様)

前回例会の記録 2024.3.5(火) 第 7 回クラブフォーラム(ローターアクト奨学担当)

- 齊 唱 国歌、奉仕の理想
- 司 会 水間 健詞 SAA
- ビクター なし
- ゲ ス ト なし
- メ ニ ュ 豚ロースカツ丼
- 出 席 会員 55 名 出席 28 名 出席率 50.9%
- 出席率訂正 前週 69.1% 前々週 65.5%
- 欠 席 者 27 名
和泉、大野、岡本、奥山、小野寺、笠原、片平、上枝、木内、木賀、桑原、駒津、坂田、三瓶、寺澤、中島、野田、野村、長谷川(良)、東野、松前、真鍋、三津橋、村上(勝)、吉田(次)、吉田(肇)、和田 各会員
- 出席規定免除 0 名 内出席者 0 名
- メークアップ報告
2月27日 長久会員(地区大会)
2月27日 岡本、松前、若沢 各会員(名寄 RAC)
- 誕生祝い
池田(5日)、木内(12日)、藤田(24日)、笠原(25日) 各会員
左から、池田会員、藤田会長
- 結婚記念日のお祝い
小野寺(16日)、山岸(18日)、高橋(伸)(21日)、三津橋(24日)、和田(26日)、長谷川(亮)(28日) 各会員
- ニコニコBOX
◎書き損じはがき・使用済み切手回収ご協力ありがとうございました 長谷川(亮)会員
◎ローターアクト奨学担当クラブフォーラムご参加ありがとうございました 山田会員
◎名寄新聞に私・息子掲載いただきました 藤田会長



■会長挨拶及び報告 藤田 健慈 会長
3月に入り、ロータリーでは「水と衛生月間」です。本日は水を考えてみたいと思います。
限りなくある物として、水と空気があげられますが、実はトイレや公衆便所など、基本的な衛生サービスを利用出来ない人々が 25 億人にもものぼります。水は産業資

源としてとても重要で、台湾企業の TSMC 半導体企業は豊富な水資源を求めて熊本県へ進出しました。実は台湾は水資源のインフラが脆弱で、台風の到来が無い時期や年は水が不足するそうです。熊本の生活用水の 8 割が地下水で、潤沢な地下水資源と交通インフラが半導体産業に適していて、熊本市を中心とした 11 市町村はほとんどが地下水に依存しています。しかし相次ぐ工場の進出に、熊本県では様々な方策を立てて、水資源の確保に、進出企業と提携を結び努力をしているそうです。
一方、北海道千歳市にできるラビダスも大量の工業用水を必要とする産業で、現在のところ苫小牧地区工業用水道の活用案と千歳川から給水する案とで調整が続いており、水利権や巨額の工事費用が課題となっています。工場を立地してから水源を考える北海道方式。果たしてうまくいくのか課題が多そうです。
どちらにせよ水と一言に言っても様々な用途や課題があり、今一度水のありがたみと課題を考えてみる必要がありそうです。

- 幹事報告 湯川 孝一 幹事
1. 名寄自衛隊協力婦人会より、チャリティ映画観賞券の案内がありました。3月30日(土)午後1時から「それいけ!アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント」が、また午後3時と午後6時からは、佐藤浩市さん、横浜流星さんがダブル主演の「春に散る」が上映されます。場所は名寄市民文化センター EN-RAY ホールです。先着 5 枚、ご興味のある方は湯川幹事まで。
2. 旭川東 RC より「創立 50 周年記念誌」が届きました。例会場後方に置いてありますので、ご興味のある方はご覧ください。
3. ロータリー財団より、藤田会長に PHF+1、稲場会員に PHF+3 のピンバッジがそれぞれ届きました。
4. 3月のロータリー・レートは、1ドル = 151 円。

■ポール・ハリス・フェロー授賞



藤田 健慈 会長 PHF+1
稲場 英紀 会員 PHF+3

■第7回クラブフォーラム(ローターアクト奨学担当)

RI第2500地区ローターアクト地区直前代表
名寄ローターアクトクラブ 高嶋 修平 会長

昨年度は代表という立場で様々な体験をさせていただきました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

今年度の活動も終盤を迎え、今後の流れとしまして、当2500地区は6月1日に旭川市の「旭川ICTパーク コクゲキ」で開催される「地区大会」の準備を進めて行く流れとなります。前回お招きいただいた際、私の与えられた卓話の時間を特別聞いておらず、すぐに話を切り上げましたが、今回およそ20分あると山田青少年奉仕委員長に伺っておりますので、ここ最近の活動報告をさせていただきます。



活動報告

●2023-2024年度 国際ロータリー第2500地区・2510地区
「第22回 北海道ローターアクト交流会」

テーマ「Re:StarT」

日時：1月27日(土)

開催地：なよろ市立天文台きたすばる

富良野1名、帯広4名、北見3名、網走5名、
名寄3名、旭川2名(うち1名旭川RC副幹事 丹保様)、
稚内2名、美幌3名、赤平3名、千歳1名、
岩見沢1名(地区ローターアクト委員長 齋藤様)、
来賓2名

計30名参加

藤田会長、山田委員長、三瓶地区ローターアクト委員
にご出席いただきありがとうございます。

きたすばるで開催されることから「STAR」の意味合いもありますが、今年度の代表の考えとして名寄で開催するに辺り、現在、実動1人で活動している高嶋が頑張っていることを、提唱ロータリーの方にも知っていただくことで、アクトの会員増強に力を入れてくれるのではないか。活動を知っていただく機会として、多くの方に参加していただけるのではないかと、そんな思いがあったようです。

交流会に参加した会員の中にはプラネタリウムではなく、大きな音を立てながら夢を見ていた会員もいましたが、プラネタリウムを初めて鑑賞した会員もいたようで大変好評でした。

また、きたすばる職員皆様の協力のもとで行った施設見学では、北海道大学所有のピリカ望遠鏡の解説などもしていただきました。

今回の交流会は、きたすばる職員皆様の協力もあっての開催となりましたが、それぞれの地域で活動する上で、知るべき地域資源やブランド地域の魅力を各々のクラブが見つかる例会となったのではないかと思います。

●帯広RAC 第1195回例会(2月第1回例会)

「網走の意思は帯広が受け継ぐ!勝手にスターライト例会!」

日時：2月10日(土)

開催地：陸別町/銀河の森コテージ村

帯広RC 3名、帯広北RC 1名、帯広東RC 3名、

帯広南RC 4名

赤平RAC 2名、稚内RAC 2名、富良野RAC 3名、

名寄RAC 1名、網走RAC 1名、帯広RAC 9名

計29名参加

主に例会は親睦を深めることがメインでしたが、2007年(平成19年)に静岡県が開発した、災害時における避難所運営ゲーム(HUG-ハグ)の体験を行いました。

避難所運営ゲームにはアイテムが必要で、避難してくる避難者について描かれているカード、避難所の図面、敷地の図面などの道具を用い、病気を抱えている夫婦や旅行でその土地を訪れた外国人やペットの受け入れをどうするのか、仮設のトイレをどこに設置するのかなど、様々な想定をしながら進めていくもので、俯瞰して物事を考える大切さなどを改めて実感しました。

●「能登半島地震被災者支援募金活動」

日時：2月17日(土)10:00~12:00

開催地：砂川ハイウェイオアシス(室内)

主催：第2510地区 赤平RAC(友好交流地区)

赤平RC 2名、砂川RC 2名、芦別RC 1名、
赤平RAC 5名、富良野RAC 3名、帯広RAC 2名、
名寄RAC 1名

RACに興味があり、今後入る可能性の2名

(赤平RAC会員のお子様と職場の後輩)

計18名参加

砂川ハイウェイオアシスに初めて訪れたのですが、家族や友人と来ている方も多く、観光業、旅行関係の休憩場所にもなっています。お土産購入とかトイレ休憩などにバスが止まることも多く、合計64,159円募金していただきました。

募金者の家族の中には、父、母、子と各々で募金する方もいました。観光団体は主にアジア圏の中国や韓国の方が多く、今回使用した募金箱は「能登半島地震災害募金」と漢字表記のみで、英語や韓国語など、募金活動を行う場所によって日本語以外の表記が必要だと再認識しました。

今後の予定

●「廃材アートから学ぶ未来のために今できること」

6月29日(土)

●「地域資源から学ぶSDGs 絵の具づくりワークショップ」

6月30日(日)

主催：名寄RAC/後援：名寄市

名寄市の文化振興助成事業を活用した講演会とワークショップを予定しています。

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」。それから9年が経過しました。さまざまな企業、団体が活動に取り組み中で少しずつ変化はあるものの、社会や環境の変化が難しいのは多くの方が感じていることと思います。

SDGs 17の目標の中に、以下の目標があります。

12. ■つくる責任、つかう責任

「持続可能な消費生産形態を確保する」

14. ■海の豊かさを守ろう

「持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」

15. ■陸の豊かさを守ろう

「陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する」

現在、私一人が動いている状況の為、委員会などはありませんが、今後の地域の課題や地域だからこそできることなどを、市民の方やご参加いただく皆さんと考えるきっかけにしたいと企画しました。

講演会、ワークショップにはキャンピングカーで旅をしながら自然のサイクルや文化、地域の人々の想いに耳を傾け、その地域の「100年後の未来」を描いている旅する画家「綾海」さんに依頼しています。

彼女の作品には、その土地の廃材から作られた絵の具が使われ、素材によって異なる質感、色、匂い、経年変化が感じられます。この「廃材から描く」方法は、素材が持つ歴史や文化、背景を深く想像させるための彼女の表現手法です。

彼女の作品への理解を深めることは、素材の本質を理解することに繋がり、私たちを取り巻く環境が常に変化していること、それを理解する重要性を伝えていきます。

ワークショップには地域の素材として「有限会社 名寄土管」の土を使用して絵の具づくりを行う予定となっています。

■委員会・その他報告

なし

2023-2024 年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度 RI 会長
ゴードン R. マッキナリー

第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎(紋別港 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

2023 ~ 2024 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.3.19(火)
第 35 回例会
通算第 3,103 回

第 65 代会長：藤田 健慈
副会長：有田 昭宗
幹事：湯川 孝一
編集責任者：クラブ会報委員会
編集担当：奥田 一巳

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ 水と衛生月間・世界ローターアクト週間

本日のプログラム ゲスト卓話(有北海屋 代表取締役 武田 直様)

次回の予告 3月26日(火) 夜間例会

前回例会の記録 2024.3.12(火) ゲスト卓話(名寄市スキーパトロール赤十字奉仕団 委員長 大山 忠嗣様)

- 斉唱 我等の生業
- 司会 播本 雅津子 副 SAA
- ビジター なし
- ゲスト 名寄市スキーパトロール赤十字奉仕団
委員長 大山 忠嗣様
- メニュー 豚のあんかけ焼きそば
- 出席 会員 55 名 出席 32 名 出席率 58.2%
- 出席率訂正 前週 63.6% 前々週 69.1%
- 欠席者 23 名
和泉、梅野、奥山、小野寺、片平、上枝、川瀬、木内、桑原、
坂田、三瓶、高橋(伸)、寺澤、中島、野田、野村、東野、真鍋、
水間、村上(勝)、吉田(次)、吉田(肇)、和田 各会員
- 出席規定免除 0 名 内出席者 0 名
- メイクアップ報告
3月5日 大野、岡本、笠原、木賀、長谷川(良)、松前、
三津橋 各会員(名寄 RAC)
- ニコニコ BOX
◎大山さまゲスト卓話ありがとうございました
藤田会長、喜多会員

■会長挨拶及び報告 藤田 健慈 会長

大分春らしくなってきた今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

昨日は 3.11 東日本大震災の日でした。私が知っている限り大地震は、1983 年(昭和 58 年)5 月 26 日の秋田県沖を震源とする日本海中部地震。男鹿市のガスタンクが倒壊しないか心配で、じっとテレビを見ていた記憶があります。

1995 年(平成 7 年)1 月 17 日阪神淡路大震災、2004 年(平成 16 年)10 月 23 日新潟県中越後大震災、2011 年(平成 23 年)3 月 11 日東日本大震災、2016 年(平成 28 年)4 月 14 日熊本地震、2018 年(平成 30 年)9 月 6 日北海道の胆振地方中東部を震源とする北海道胆振東部地震は、ブラックアウト(全域停電)が発生したことで記憶に新しいです。

そして 2024 年(令和 6 年)1 月 1 日能登半島地震と、ここ数十年で大きな震災が立て続けに起きている気がします。

これだけの大地震が頻発する日本ですが、世界規模の地震ランクは、規模では東日本震災が第 4 位(マグニチュード 9.0)、1 位は 1960 年 5 月 23 日に起きたチリ地震(マグニチュード 9.5)だそうです。大地震の発生回数ランクは、1980 年から 2000 年までの間で「マグニチュード 5.5 以上の地震が発生する年平均」のランキングトップは中国となっており、発生頻度 2.10 回、日本はこれも 4 位で 1.14 回だそうです。国土面積を考えると相当危険な所に私たちは住んでいるように思えます。

どちらにしても毎回言われることは、いつ起きてもおかしくない災害、その備えを十分にしておくことが大切です。それぞれの震災地の人々に思いを寄せ、支援を続けて行くことが必要だと思います。

改めて災害で亡くなった人々のために、心からご冥福をお祈りいたします。

今日はスキー場の災害から私たちを守っていただいている、赤十字奉仕団 大山さんの卓話がございます。よろしくお願いいたします。

■幹事報告 湯川 孝一 幹事

1. 先週もご案内いたしました、名寄自衛隊協力婦人会より、チャリティ映画観賞券の案内があります。3 月 30 日(土)午後 1 時から「それいけ!アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント」が、また 3 時と午後 6 時からは、佐藤浩市さん、横浜流星さんがダブル主演の「春に散る」が上映されます。場所は名寄市民文化センター EN-RAY ホールです。まだ、数枚手元がございますので、ご興味のある方は湯川幹事まで。

2. RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会/The Rotary Leadership Institute) パートⅢ が ZOOM にて、3 月 10 日(日)9 時から 16 時の時間帯で開催されました。名寄 RC からは有田副会長が参加されました。湯川幹事も急遽依頼があり、DL(ディスカッションリーダー)として参加しました。

■ゲスト卓話

名寄市スキーパトロール赤十字奉仕団

委員長 大山 忠嗣 様

私も今年の1月に後期高齢者になりました。考えてみるとずいぶん長い間スキーをやっていたと自分でも驚いています。

スキーを始めたのは親父から小学2～3年生の頃にクリスマスプレゼントで買ってもらったのを覚えています。特にスキーが上手だったわけではありませんが、学校のスキー遠足やスキー大会は好きでした。

高校を卒業し、名寄消防に入った時にスキーをしている先輩に誘われて1級を取り準指導員を取りました。

救急法を習ったのは昭和42年に消防に入った時、これからは消防署に救急車を置いて救急業務を行うようになるということで、江別にある北海道消防学校の救急課程に昭和45年に入学しました。

消防学校には救急を担当する教官はいませんでしたので、札幌の自衛隊地区病院の医師が、解剖整理・内科・外科・看護等の講義をしに来てくれました。

救急法は日本赤十字社の東京本社から小森栄一先生(救急法の教本を書いた人)が1週間泊まり込みで学科及び実技を教えてください、最後に検定をして合格者に救急法指導員の資格をくれました。その時、赤十字のスキーパトロールという資格があるのを知り挑戦することになりました。

昭和48年の12月にパトロール奉仕団に入団。年が明けて昭和49年1月に赤十字スキーパトロールの資格を取得しました。

この時もニセコのヒラフスキー場に1週間泊まり込みで、100人以上いたと思いますが、大広間にすし詰めになって学科と実技の講習を受けました。

私がパトロール奉仕団に入団した時は、菊山スキー場とピヤシリスキー場があり、両方に専従パトロールはいませんでした。管理人だけでしたので、奉仕団が平日から土日まで毎日当番を張り付けていました。私は消防だったので非番があり、その日に当番が当たれば行けたのですが、出番の日に当たった場合は、今と違って年休は取りづらく勤務が変わってもらうなどして苦労しました。

現在はピヤシリスキー場だけになり、専従パトロールがいるので、土日祝日の込み合う日だけ当番を張り付け、平日は都合のつく人に活動してもらっています。

ケガ人の状況ですが、その年によって多かったり少なかったりしますが、ここ5年間では15人～25人で推移しています。

活動するには救助及び救急資器材が必要になりますが、これが結構高額なので、名寄RCから長年にわたり寄付をいただいています大変助かっています。

おかげさまで機材もたくさん揃い、大きなものでは脊椎などの骨折に時に全身を固定するバキュームスプリ



ントや、傷病者をあまり動かさずに持ち上げることが出来るスクープストレッチャーなどがあります。

救助器具の他に、詰め所に置いてある傷病者を寝かせる折り畳み式のベッドがあります。これを購入する前は、市立病院を立て替えるとき廃棄するベッドを2台貰って置いてありました。昔の鉄パイプでできた大きなベッドで場所ばかり取っていたので、私達が待機する場所が狭くて邪魔でした。

AEDはいつでも使えるように点検しておかなければならず管理が大変です。耐用年数があり、機種によりませんが本体8年、バッテリー4年、パッド2年などです。パッドは古い機種は成人用と小児用という表現でしたが、新しいタイプのAEDは成人用は小学生から大人用、小児用は未就学児用と表示されています。

今年2月の少し吹雪の日、東京名寄会の方がスキーに来て、第2リフトの降り場付近で仲間と話している時、急に倒れて意識がなくなりました。専従のパトロールが出動してAEDを装着して胸骨圧迫をしました。アキヤ(怪我された方を搬送するボート)で搬送しながら胸骨圧迫をしていました。私はその日は中学校のスキー授業を担当していたのでアキヤで搬送するのを見ていました。後でパトロールに話を聞くと、搬送中にショックが必要だと音声で3回ほどあったのでショックボタンを押したそうですが、回復しなかったと言っていました。87歳の男性でしたが亡くなりました。

3月初めのすごい大雪が降った翌日に、全身固定用ギブスを使ったケガがありました。大雪の次の日は新雪を滑るため上級者が新雪を楽しみます。雪が多くて前がよく見えなかったと思うのですが、段差があったところに気付かず転倒していました。無線が入り現場へ行くと、肩が痛いのと手がしびれているというので脊椎の損傷があるかもしれないので全身用固定ギブスを使ってアキヤで搬送しました。

このように名寄RCから寄付していただいたお金で購入した機材を使用していることをご報告し、お礼を申し上げます。

また、こういう実践ばかりではなく、普段から練習もしていますが、パトロールの大会に向けて練習するのも良い練習になります。今年2月24日・25日に「第51回北海道赤十字スキーパトロール競技大会」がピヤシリスキー場で開催されました。名寄RCの藤田会長も開会式に出席して下さりありがとうございました。

大会には6チームが参加し、名寄チームも参加しましたが、残念ながら総合では4位でした。種目別で救急法実技競技は3位、アキヤ操作技術競技は1位、総合技術競技6位でした。

最後に、この大会の写真でスライドショーを作っていましたのでそれを見ていただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

■委員会・その他報告

なし



選手宣誓



アキヤ操作技術競技
スタート地点



名寄チームスタート



2023-2024 年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度 RI 会長
ゴードン R. マッキナリー

第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎(紋別港 RC)



THE ROTARY CLUB OF NAYORO
DISTRICT 2500 ROTARY INTERNATIONAL

2023 ~ 2024 名寄ロータリークラブ会報

R.I. 第 2500 地区 創立 1959 年 5 月 5 日

2024.3.26(火)
第 36 回例会
通算第 3,104 回

第 65 代会長：藤田 健 慈
副 会 長：有 田 昭 宗
幹 事：湯 川 孝 一
編集責任者：クラブ会報委員会
編 集 担 当：奥 田 一 巳

□例会日 毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 (夜間例会 18:00)
□例会場 グランドホテル藤花(名寄市西 5 条南 4 丁目)
□事務所 名寄市東 1 条南 7 丁目 名寄商工会議所内
TEL (01654) 3-3155 FAX (01654) 2-0571
□ホームページ <http://cci.nayoro.biz/hp/nayororc/>

今月のテーマ 水と衛生月間・世界ローターアクト週間

本日のプログラム 夜間例会

次回の予告 4月2日(火) 休会日 4月9日(火) 第8回クラブフォーラム(社会奉仕担当)

前回例会の記録 2024.3.19(火) ゲスト卓話(有)北海屋 代表取締役 武田 直様)

□齊 唱 四つのテスト

□司 会 水間 健詞 SAA

□ビジター なし

□ゲ ス ト (有)北海屋
代表取締役 武田 直(なおし)様

□メニュー ヒレカツ飯

□出 席

会員 55 名 出席 30 名 出席率 54.5%

□出席率訂正

前週 67.3% 前々週 65.5%

□欠 席 者 25 名

和泉、遠藤、奥山、小野寺、笠原、片平、上枝、木内、
桑原、駒津、坂田、高橋(直)、寺澤、中島、野田、
野村、播本、東野、松前、真鍋、村上(勝)、吉川、
吉田(次)、吉田(肇)、和田 各会員

□出席規定免除 0 名 内出席者 0 名

□メイクアップ報告

1 月 16 日、23 日、30 日 三瓶会員(名寄 RAC)

2 月 6 日、13 日、20 日、27 日

三瓶会員(名寄 RAC)

3 月 5 日 三瓶会員(名寄 RAC)

3 月 12 日 梅野、川瀬、三瓶、高橋(伸)、水間

各会員(名寄 RAC)

□ニコニコ BOX

◎武田様ゲスト卓話ありがとうございました
藤田会長、喜多会員

◎しばらく欠席が続きすみませんでした
三瓶会員

◎長男・長女がそれぞれ小学校・中学校を無事
卒業しました 有田会員

◎長男が志望校に合格しました 有田会員

■会長挨拶及び報告 藤田 健慈 会長

春の高校野球が始まり、大谷選手ブームも手伝って、世の中野球一色のような状況が報道されていますが、先日、とある報道で、硬式野球部部員があと 20 年もするとピーク時より 7 割も減ってしまうという推計がでていました。ピークは 2014 年で、その数 17 万人強から 5 万 2,500 人になると言うことです。近年の少子化の影響もありますが、その減少率よりも倍の減少率で、野球そのものの人気は子供達にはないようです。野球は根性と汗と泥まみれの練習、丸刈りや指導現場の閉鎖的雰囲気、また用具の高さ(一式そろえると 10 万円かかる)、バットだけでも 3 万から 3 万 5,000 円という話です。東京都でも単独でチームを組めない(部員が 9 名以下)の学校が増えているようで、混成チームが高校野球に認められたのが 2012 年、現在、東京の高校野球予選で

31 校中 11 チームが混成チームだったそうです。とりわけ北海道は顕著で、このまま行くと単純平均で部員が1校あたり 11 名と言うことになってしまうそうです。

その中で思い出されるのが、昨年の夏の甲子園優勝の慶応高校、自分で考える野球をモットーに当然髪型も自由、野球そのものを楽しみ、自由な雰囲気の中で野球ができる環境作りが求められているそうです。今や丸刈りを義務化している高校はかつての8割から23年は26%に激減、休日の練習時間は5時間以上のところも73%から47%に、週休2日の野球部もあるそうで、部活のあり方そのものが大きく変わってきているのかもしれない。

昔から部活は「練習と指導者だ」と言われてきましたが、部活の指導を嫌う教員が増えている現在、第二の大谷翔平が生まれる可能性は日に日に少なくなっている様です。

現在、名寄市でも地域スポーツクラブや部活指導者の外部委託など、様々な取り組みに着手していますが、そのスピードを上回る速さで、部活スポーツの環境は変わってきているように思えます。とりわけ名寄は周辺地域に比べ、人や環境も恵まれていると言われています。みんなで知恵を出し合って、子供達の健全育成のための部活のあり方を考えなければならない時期に来ているようです。

■幹事報告 湯川 孝一 幹事

1. 帯広東 RC より「創立 40 周年記念式典・祝賀会のご案内」が届いています。
令和 6 年 6 月 15 日(土)15 時 30 分から、式典・講演：とかちプラザ、祝賀会：ホテル日航ノースランドとそれぞれの会場になっています。締め切りは 5 月 10 日(金)です。
参加を希望される方は湯川幹事まで。
2. 次回の「理事役員会」は 3 月 26 日(火)17 時 15 分から、グランドホテル藤花にて開催します。対象者はご参加をよろしく申し上げます。

■ゲスト卓話「学校給食と子供達」

(有)北海屋 代表取締役 武田 直 様

本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

今回の卓話のきっかけは、1 月 25 日に行われた名寄商工会議所新年交礼会で、産業功労賞をいただく機会がありまして、その際、名寄中学校の先輩の喜多さんからお声がけいただき、卓越した営業トークに翻弄され、あっという間の本日を迎えております。

まずは、本日ご出席の皆様当社北海屋のこれまでと、私自身のこれまでを少しお話させていただきます。

昭和 25 年

名寄市開基 50 周年記念事業としてパンを売ろうと祖父の貞雄が創業。

昭和 26 年 2 月

法人化し、パンと和洋菓子の販売を本格的にスタートしました。

祖父の貞雄は事業だけではなく、陸上の短距離選手やスキージャンパーの草分け的な存在で、柔道 6 段、名寄町時代の町会議員も務めていたようです。

当時、北海屋のパンと菓子はまだまだ珍しく、名寄・下川・美深・多寄・幌加内の多くの商店で販売していただき、作れば作るだけ売れたと聞きます。

昭和 28 年

学校給食パンの提供をスタートしました。

その後は祖父と、長男である私の父、父の弟を主力に事業を継続していました。

昭和 41 年 9 月

私、直が誕生します。

昭和 44 年

祖父の貞雄が美唄で居眠り運転の車に衝突され死亡。59 歳の年でした。

長男だった父の徹朗が代表取締役に就任。

昭和 52 年

米飯給食がスタート。

昭和 60 年

私、直は高校を卒業し東京へ。



平成に入り

外国産100%だった給食の小麦粉を北海道産50%とし、全国に先駆けて地元産小麦粉の使用を開始(高橋はるみ知事時代の麦チェーン北海道のタイミング)。

平成3年

名寄市学校給食センターの建て替えと同業者だった大阪屋(パンのいしだの父が経営)の廃業により、業務多忙になることで、私が名寄に帰ってきます。

平成15年

なよろサンピラー国体の朝晩の米飯提供に全面協力。

平成19年

全道で道産小麦粉100%のパンをスタート。

平成21年

給食センター合併後、使われていなかった旧風連町学校給食センターへ工場機能を移転。大通南4丁目旧工場解体(工場の老朽化と設備投資のバランスを考えた上で決断をしました)。

平成29年

名寄独自でJAなよろとホクレンの協力をいただき、名寄産「春よ恋100%」での学校給食パンの提供を開始。

祖父の急死後46年間社長業を頑張ってくれた父の徹朗より代表を交代し現在に至りますが(まだ8年目)、実質は風連移転からの15年はほぼ全ての業務を担当。

現在

学校給食の主食は、お米は風連産「ななつぼし」、小麦粉は名寄産「春よ恋100%」で製造加工しており、地元産100%です。

～とても誇れること～



私が帰ってきた平成3年はまだ一部市販品の製造と農業高校の売店での販売をしていましたが、現在では学校給食関連の売上げが95%以上を占めており、名寄市の全域のパン・米飯と下川町/枝幸町のパンの加工を主にしています。

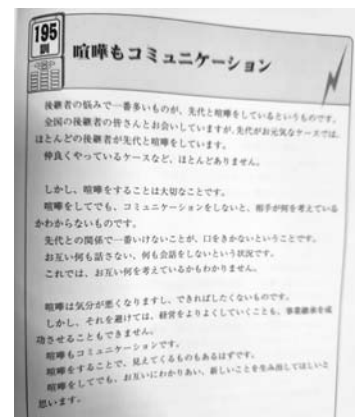
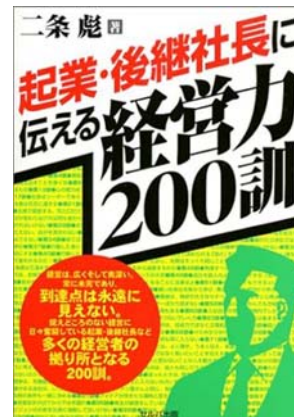
現在はパート従業員2名と就労支援事業所から2名の派遣と私で運営しています。パートの内1名も就労支援事業所からの雇用で現在9年目、貴重な戦力になっています(出来る所を伸ばし、できない所をカバーすればしっかり働ける)。



やはりこれまでに苦勞したのは事業承継です。前社長の父親との意見の相違やこれからの展望の相違、経理に関する考え方の違い、従業員への考え方の違い等、相違点は様々なことで起こりました。

そんな中、平成20年頃に名寄商工会議所主催だったと思いますが、事業承継のセミナー的なものに参加させていただきました。その際の講師

二条 彪(たけし)さんの講話内容に勇気をもらい、自分のすべきことがクリアになった気がして救われた記憶があります。



自分の人生への向き合い方が、死が訪れた時に後悔しない選択をしていこうと決めているので、そうすると大体のことは困ったり迷ったりしたら、とりあえずやってみようと思うようになりま

す。当然失敗もあるけど経験も増えます。

私の家族、特に4人の子供達に対しても、そんな父親に見られていると思いますし、背中で伝えられる父親象を追い求めているのかとも思っています。

学校給食

【現状】

当然人口減に伴い、名寄市の給食人口は減り続け、現在は1,950食程度です（教員・センター職員も含む【子供の数は1,700を切るくらい】）。これは15年前の約2,600食から25%減という状況です。参考までに、業界的には人口の8%程度が給食人口の目安なので、名寄市の現在の人口約2万5千人で計算すると2,000なので大体当てはまります。

学校給食は栄養教諭制度を導入してから20年程経過し、以前は教育の一環と言われていましたが、現在は教育の中央に来ていると思います。

そんな中、給食費無償化が話題に上り、異次元の少子化対策の一環として直ぐにでもスタートしそうな勢いでしたが、当然地域によって取り組み方や給食費の価格、給食費の内容の違いが各自自治体であり、なかなかスタート出来ず、今現在は早く令和7年スタートではないかと言われています。

仮に無償化されたとしても、それは貧困対策に重点があり、決して給食が良いものになるわけではありません。名寄市として次年度より30円程の値上げ分を補助金で賄い、給食費の値上げは無いとしていますが、今後無償化になったとしても、継続して+30円なのか50円なのかわかりませんが、その分、給食をもっと良くする為に、地域として特色を出す為に、子供達の為に、是非継続していただきたいと思っています。



日本の食糧事情は今後も重要な課題ですし、世界的に見ても水や食料の重要度も上がって行くでしょう。食べることは生きることです。



最後に

これまでの出来事の中で、運がよかったな、ラッキーだと思えることが多々あって、今があり、事業を継続出来ていると思います。

その、運がよかったのは何故かと考えると、そこには必ず人がいます。家族や友人、業者の人、久しぶりに会った先輩、たまたま飲み屋で知り合いになった人、色々な場面で面識の出来た人達に助けられているのだと思います。この事からも友好的人間関係を造ることが人生をハッピーにするのだと思います。

そして、日本の宝、地域の宝である子供達の学校給食の主食供給事業に関わることが出来、大変感謝しています。

これからもこの仕事に誇りを持って、異物混入・食中毒には十分注意し、保護者の皆さんにも安心してもらえるよう、供給を続けて参ります。

話があっちこっち行ってしまい、中途半端な内容になりすみませんでした。本日はお昼の貴重な時間をいただきありがとうございました。

■委員会・その他報告

なし

